



## 第2回オンライン学習会

視覚支援で子どもたちに安心、そしてやる気を！



1. 日時：10月29日（日）9：00～10：15

2. 準備ネットにつながるパソコン、タブレット、スマホ等  
事前に「ZOOM Cloud Meetings」をインストールしておく。

3. 発表者：

- (1)「みんなで楽しんで取り組めた発表会」片岡瑞穂、細木美月、山口恵梨（仁淀川町ふたば保育所）
- (2)「病院の検査に対する子どもの不安軽減を目指して」岡林美由紀（もみのき病院・もみのきっず）

4. 内容

(1) 通常学級には、様々な個性を持った子どもたちがいます。持っている苦手さも人それぞれ。「集中するのが苦手」「せりふを覚えるのが苦手」「友だちとタイミングを合わせるのが苦手」などなど…そこで、ふたば保育所年長組の若き保育士さんたちは考えました。

「台本に子どもたちを合わせるのではなく、子どもたちに合わせて台本をかえればいい！」と。ハンドベル演奏の練習では、視覚支援満載の楽譜が登場。そして発表会当日は、スピーディーな展開の劇に、会場はあたたかな笑いに包まれました。

この実践は、「保育所だからできる」「小さな所だからできる」のではなく、視点を変えれば通常学級のどんな子どもでも輝くことができる（＝特別支援教育の原点）取り組みのありかたを提案してくれています。発表会練習風景の動画をまじえての実践発表、今から楽しみです。

(2) 病院ではたくさんの検査をしています。なかにはMRIやCTといった、大きな機械を使った検査もあります。初めての検査や見慣れない機械は、子どもたちにとって大きな不安となります。もみのき病院では、子どものMRI検査をする時に、不安や恐怖心、機械音に耐えられず子どもが途中で動いてしまい正確な検査が行えないことが課題だったそうです。そこで、保護者だけでなく、子ども自身に検査について理解してもらい、できるだけ怖い思いをしないで検査をしてもらうための取り組みをスタート。

この取り組みを通して、小さな子どもや発達障がいのあるお子さんにも、きちんと説明をすることの大切さや、見通しがもてると子どもたちが診療に協力してくれることなど、たくさんの気づきがあったそうです。今回は、日本臨床脳神経外科学会で発表した内容を中心に病院での実践を発表していただきます。

5. 参加費

☆一般の方：1,000円

☆会員の方：800円

※振り込み方法：詳しくはTOMOはうすHPをご覧ください。

- ①銀行振り込み（手数料必要）②ラインペイ（久武と既にお友達登録されている方限定、手数料無料）
- ③ペイペイ（久武携帯番号で検索 090-7786-7472 手数料無料）



6. 参加申し込み締め切り：10月28日（土）20時 [tomohouse2012@gmail.com](mailto:tomohouse2012@gmail.com) まで

①件名：第2回学習会参加申し込み②氏名 ③職場 ④職種 ⑤視聴されるデバイスのメールアドレス